

## 御所見地区の今後の取組み資料

### 目 次

1 御所見地区における交通課題および再編方針	・ ・ ・ ・ 1
2 御所見地区での再編イメージ（案）	・ ・ ・ ・ 3
3 御所見地区での再編に向けた各種調査の深度化	・ ・ ・ ・ 5
4 ふじみ号利用者に対する意向調査結果	・ ・ ・ ・ 6
5 長 17 系統利用者に対する意向調査結果	・ ・ ・ 1 5
6 御所見市民センター利用者へのアンケート調査結果	・ ・ ・ 2 2
7 再編の方向性に関する現時点での評価	・ ・ ・ 2 5
8 今後の進め方	・ ・ ・ 2 6

# 1. 御所見地区における交通課題および再編方針

## (1) 再編に向けた交通課題

### ①人口密度が低い地域を踏まえた再編策の検討

御所見地区は、従業人口、病院・商業施設・学校等も少ないため、周辺施設の利用者を増やすことは難しい状況にあります。このため、アンケート調査による地元意向を踏まえつつ、**需要喚起につながる、ルートなど利用しやすい公共交通として再編策を検討して行く必要**があります。

### ②ふじみ号などバス交通の情報提供策の検討

アンケート調査結果（2012年12月実施）を見ると、**バス利用者への情報提供の重要度が高い傾向**にあります。このため、地域へのバス交通の**情報提供を積極的に行う必要**があります。

### ③ふじみ号利用者の意向を踏まえた利用促進策の検討

アンケート調査結果（2012年12月実施）を踏まえつつ、さらに利用者のヒアリング調査を実施するなどをしながら、**ルートの改善、乗継利便性の向上、通勤時間帯の利便性の向上**を検討して行く必要があります。

## (2) 御所見地区のバス路線の再編方針

### ① ふじみ号及び周辺路線の再編に向けた方向性

- ・長 17 系統（長後駅から宮原南）を別系統として、湘南台から宮原南を経由して用田辻方面に至る系統とすることを検討します。
- ・ふじみ号の運行密度を、利用される時間に応じて調整します。
- ・ふじみ号の御所見中心地区（御所見市民センター等）方面の接続の可能性について検討します。

### ② ふじみ号及び周辺路線の再編に向けた調査の深度化等

- ・ふじみ号及び長 17 系統（長後駅西口～宮原南）の利用者に対する意向調査（神奈中と協力して乗込み調査）実施の検討。（⇒調査済みであり結果報告）
- ・ふじみ号の主な利用者である光友会との調整。（⇒調査済みであり結果を「ふじみ号」利用者に対する意識調査へ反映）
- ・老人会等の高齢者団体への聞き取り調査実施の検討。（⇒今後実施予定、サークル活動者への調査については実施済みであり結果報告）
- ・地域へのふじみ号利用促進に向けた情報提供など取組みの実施。
- ・この他関係団体へのヒアリング調査の実施。 等

⇒今年度は上記の方針をもとに、利用者や沿線住民にアンケート調査等を実施し、再編によるメリット、デメリットを確認しながら検討を進めます。

## 2. 御所見地区での再編イメージ（案）（ふじみ号および長17系統）

### （1）路線再編概要

2012年12月に実施したアンケート結果をもとに、利用者等のご意見を伺うために仮に想定した計画です。今後の計画については、ご意見を踏まえ、変更していく見込みです。

以下に、再編のイメージと、再編で想定するメリットを整理します。

#### 【再編のイメージ】

##### ① ふじみ号（新）

路線：慶応大学～榎戸～光友会入口～  
瀬郷公民館～藤沢御所見病院～  
瀬郷中島～**新設3**～**新設2**～  
中里団地～**新設1**

運行頻度：時間あたり1.5往復程度  
（一部時間のみ）

#### 想定するメリット

◎人口の多い御所見中心地区に新たにバス停が設置されることで、利便性確保および需要確保が想定されます。

##### ② 綾瀬車庫～宮原南～湘南台駅西口（新）

路線：綾瀬車庫～用田辻～宮原～  
宮原南～**新設4**～**新設5**～  
榎戸～慶応大学～**湘南台駅西口**

運行頻度：時間あたり1往復程度

◎鉄道駅利用としてニーズの高い湘南台駅へアクセスしやすくなることにより、利便性確保および需要確保が想定されます。

#### 【新規バス停】

**新設バス停1**：御所見市民センター付近  
**新設バス停2**：中里小学校付近  
**新設バス停3**：中里小学校南西  
**新設バス停4**：瀬郷西交差点付近  
**新設バス停5**：乗馬クラブ湘南付近

◎人口の多い御所見中心地区や病院の付近に新たにバス停が設置されることで、利便性確保および需要確保が想定されます。



### 3. 御所見地区での再編に向けた各種調査の深度化

#### (1) 調査内容

御所見地区のふじみ号及び長17系統の再編は、一体的に進められるものであるため、ふじみ号利用者、長17系統利用者に前述の路線の再編のイメージを示しながら次の調査の一部を実施しました。これらに加えて高齢者向けの調査、関係団体へのヒアリング調査を実施する予定です。

#### ■ふじみ号及び周辺路線の再編に向けた調査

##### 【把握が必要な項目】

- ・路線再編によるメリットによる効果（利用促進）が発揮できそうか
- ・一方、路線の変更による廃止バス停により、利用ができなくなる利用者があるか
- ・これらの利用者は引き続き公共交通を利用することが可能か
- ・新たに路線を新設する区間において利用が見込めるか

#### 以下の3つの調査を実施

##### ①現在のふじみ号利用者へのアンケート調査

- ⇒利用区間や利用頻度、再編に対する意向を把握
- ⇒廃止を予定するバス停を利用している方については、再編後の意向を把握

##### ②御所見市民センター来訪者へのアンケート調査

- ⇒御所見地区中心部へ来訪する方の路線再編への意向の把握

##### ③中里小学校区での利用意向調査（PTA に対し実施予定）

- ⇒中里小学校区の周辺の地区での利用意向を把握（通学での利用の可能性など）
- ⇒新たに路線を設定することで想定される利用者数を把握

⇒再編による効果や課題について確認し、再編案を検証します。

#### ■長17系統の廃止と湘南台直通系統の新設に向けた調査

##### 【把握が必要な項目】

- ・路線再編によるメリットによる効果（利用促進）が発揮できそうか
- ・宮原周辺から長後駅周辺へ移動を行っている利用者があるか
- ・これらの利用者は引き続き公共交通を利用することが可能か
- ・長17系統の利用者の路線変更の際の意向

#### 以下の2つの調査を実施

##### ①現在の長17系統利用者へのアンケート調査

- ⇒利用区間や利用頻度、再編に対する意向を把握
- ⇒廃止を予定するバス停を利用している方については、再編後の意向を把握

##### ②御所見市民センター来訪者へのアンケート調査

- ⇒御所見地区中心部へ来訪する方の路線再編への意向の把握

⇒再編による効果や課題について確認し、再編案を検証します。

## 4. ふじみ号利用者に対する意向調査結果

### (1) 調査概要

調査日程	2013年7月10日
調査方法	ふじみ号利用者に対して調査員が直接聞き取りで調査を実施
調査対象	ふじみ号を利用された全員の乗客
回収票数	132票
調査項目	現在の利用状況、路線の再編(案)についての意見

### (2) 調査項目

調査は、路線の再編のイメージについて解説を行い、次の項目について聞き取りを行いました。

現状バス路線の利用意向については、次の前提条件でご回答願います。

#### 【現在の運行状況】

##### ① ふじみ号

路線：慶応大学～榎戸～光友会入口～瀬郷公民館～藤沢御所見病院～瀬郷中島～榎戸～打戻大仲～慶応大学（ふ01系統）  
 ：慶応大学～打戻大仲～榎戸～荒井～光友会入口～瀬郷～宮原～瀬郷広町～打戻大仲～慶応大学（ふ02系統）  
 ：慶応大学～打戻大仲～瀬郷広町～宮原～瀬郷～光友会入口～荒井～榎戸～打戻大仲～慶応大学（ふ03系統）

運行頻度：6時台～8時台（右回り－8便－藤沢御所見病院経由）  
 9時台～12時台（右回り－4便－宮原中央経由）  
 13時台～20時台（左回り－17便－宮原中央経由）

#### 質問1. 現在の利用状況についてお伺いします

(1)性別	1. 男 2. 女	(2)年齢	1. 小学生 2. 中学生 3. 10代(小学生、中学生を除く) 4. 20代 5. 30代 6. 40代～65歳未満 7. 65歳以上
(3)利用目的	1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 通院 5. レジャー 6. その他( )		
(4)バス目的地	1. 湘南台駅 2. 辻堂駅 3. 藤沢駅 4. その他( )		
(5)利用頻度	1. 毎日 2. 週4～5回程度 3. 週2～3回程度 4. 週1回程度 5. 週1回未満		
(6)行き	乗車バス停( ) ( )時( )分～( )時( )分/ 降車バス停( )		
(7)帰り	乗車バス停( ) ( )時( )分～( )時( )分/ 降車バス停( )		
バス停番号	0. 利用しない 1. 慶応大学 2. 遠藤打越 3. 遠藤西の谷 4. 宇都母知神社入口 5. 打戻大仲 6. 榎戸 7. 荒井北 8. 荒井 9. 盛岩寺前 10. 堂の前 11. 打戻二ノ町 12. 光友会入口 13. 瀬郷公民館前 14. 瀬郷 15. 宮原南 16. 宮原中央 17. 宮原 18. 御所見総合クリニック 19. 瀬郷中島 20. 瀬郷広町 21. 西谷戸 22. 瀬郷東町 23. 藤沢御所見病院 24 その他		

質問2. 路線の再編(案)についてご意見をお伺いします。

次の再編計画を行った場合に、バスをどのように利用されますか。(別紙1-参考図)

**【廃止が想定される区間】**

- ① ふじみ号(瀬郷～宮原南～宮原中央～宮原)  
(瀬郷広町～西谷戸)
- ② 長17系統(用田～御所見市民センター～長後駅西口)

**【廃止が想定されるバス停】**

ふじみ号(瀬郷、瀬郷広町、西谷戸)

**【新系統】**

- ② ふじみ号(新)  
路線：慶応大学～榎戸～光友会入口～瀬郷公民館～藤沢御所見病院～瀬郷中島  
～新設3～新設2～中里団地～新設1  
運行頻度：時間あたり1.5往復程度(一部時間のみ)
- ③ 綾瀬車庫～宮原南～湘南台駅西口(新)  
路線：綾瀬車庫～用田辻～宮原～宮原南～新設4～新設5～榎戸  
～慶応大学～湘南台駅西口  
運行頻度：時間あたり1往復程度

(1)再編された際の交通手段(1つ)	1. (再編)ふじみ号 2. (新系統)綾瀬車庫～湘南台駅 3. 自動車(送迎を含む) 4. バイク/原付 5. 自転車 6. その他( )
(2)(1)の設問で3～6を選択した方のみ	
バスを利用しない理由(複数可)	1. バス停が遠くなる 2. 目的地に行けない(目的地 ) 3. 利用時間に合わない 4. 運行回数が少ない 5. その他( )
(2)(1)の設問で1, 2を選択した方のみ	
新設路線の利用頻度	1. 変わらない 2. 変わる[平日( )回・土曜( )回・休日( )回]
利用時間・区間	行き：乗車バス停( ) / 降車バス停( ) 到着時間( )時( )分頃
	帰り：乗車バス停( ) / 降車バス停( ) 到着時間( )時( )分頃
バス停番号	0. 利用しない 1. 慶応大学 2. 遠藤打越 3. 遠藤西の谷 4. 宇都母知神社入口 5. 打戻大仲 6. 榎戸 7. 荒井北 8. 荒井 9. 盛岩寺前 10. 堂の前 11. 打戻二ノ町 12. 光友会入口 13. 瀬郷公民館前 14. 瀬郷 15. 宮原南 16. 宮原中央 17. 宮原 18. 御所見総合クリニック 19. 瀬郷中島 20. 瀬郷広町 21. 西谷戸 22. 瀬郷東町 23. 藤沢御所見病院 24. 新設1 25. 新設2 26. 新設3 27. 新設4 28. 新設5 29. その他

質問3. その他バスへの要望や問題に感じている点を、以下にご自由にご記入ください。

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。



### (3) 調査結果

#### 1) 回答者の属性

利用の年代は中学生や20代、30代、40代以上など、幅広い年齢層から回答が得られました。

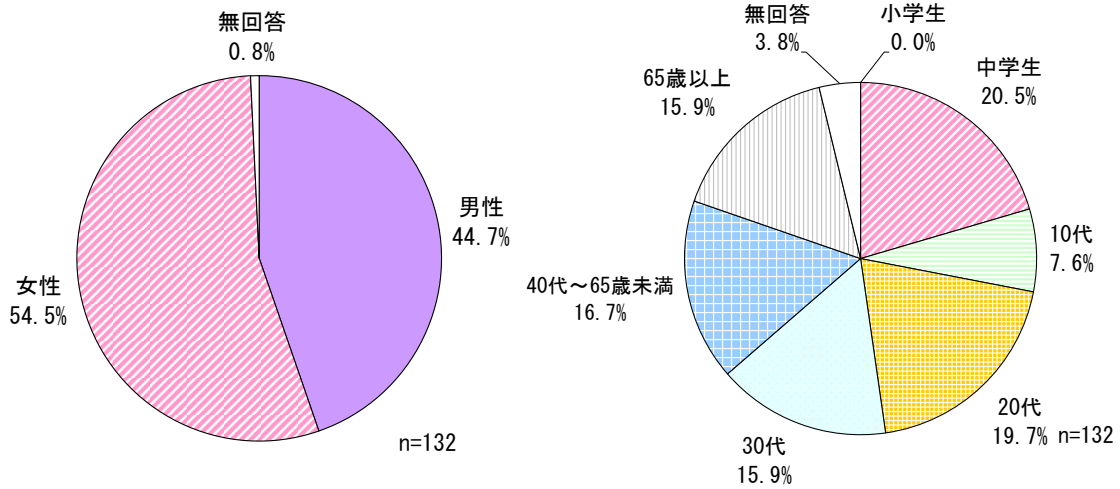


図-1 回答者の性別および年代

#### 2) 現在のふじみ号の利用状況

##### ①利用目的、利用頻度

通勤が多くなっており、利用頻度は週4日以上の方が約半数となっています。

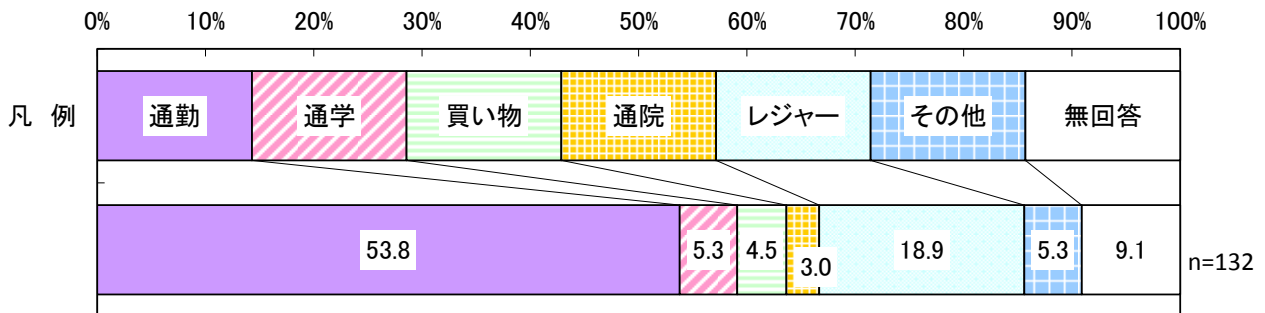


図-2 回答者の利用目的

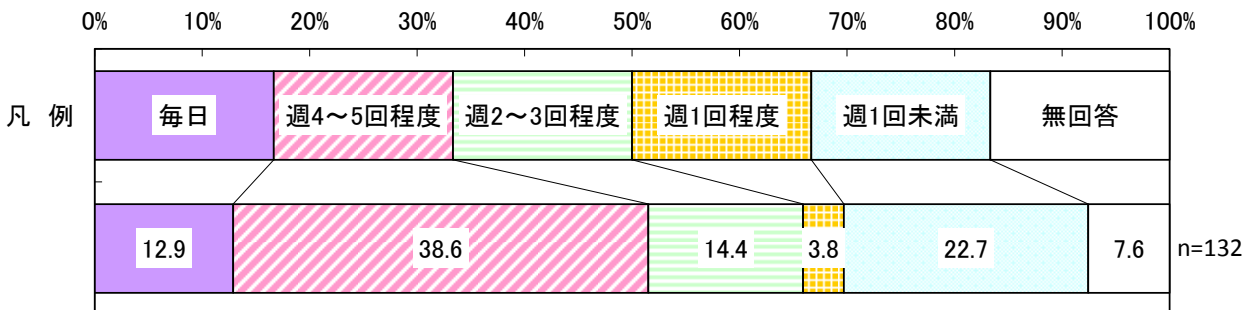


図-3 回答者の利用頻度

## ②利用駅

利用者のうち67.4%が湘南台駅利用、10.6%が辻堂駅利用となっています。

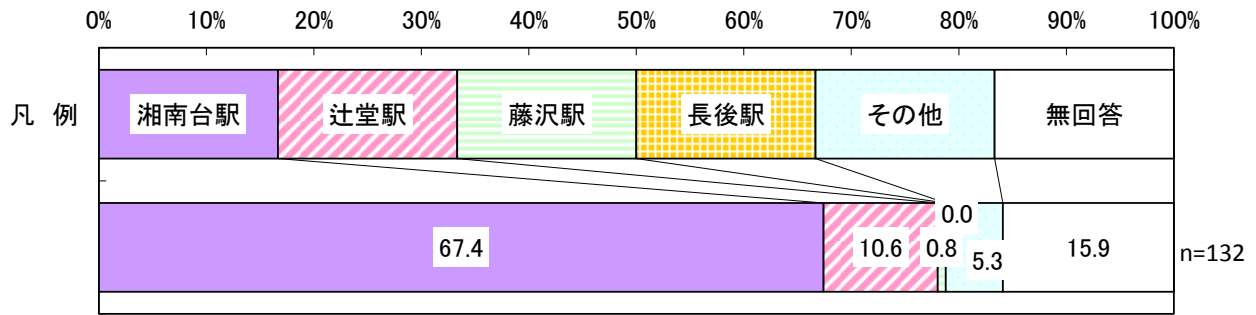
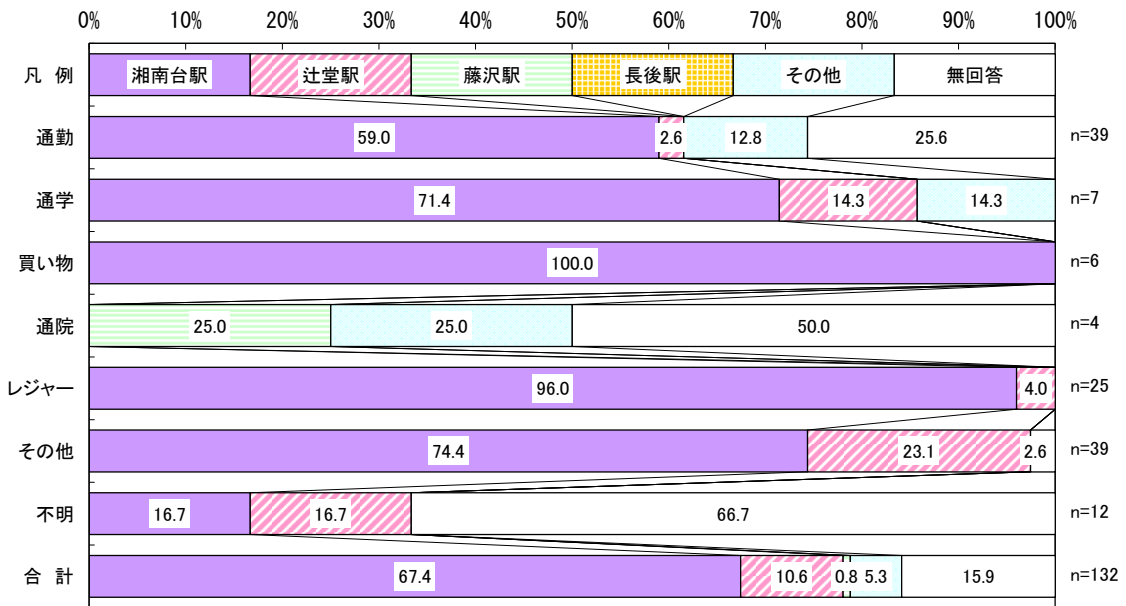


図-4 回答者の利用駅

### <目的別の利用駅>



### <年齢層別の利用駅>

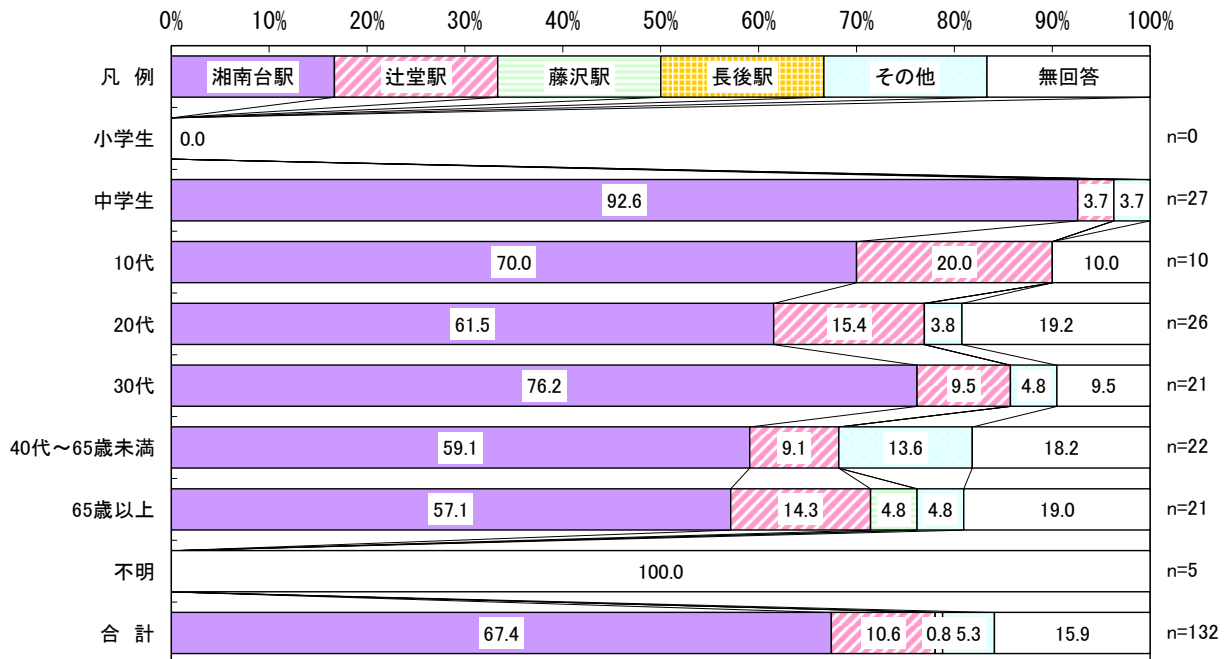


図-5 回答者の目的別の利用駅（上）、年齢別の利用駅（下）

### ③利用バス停（乗車バス停および降車バス停）

慶応大学、打戻大仲、光友会入口の利用が多くなっています。（廃止予定となる瀬郷広町、西谷戸、瀬郷のバス停利用は少ないが数名の利用はみられます。）

【往路】

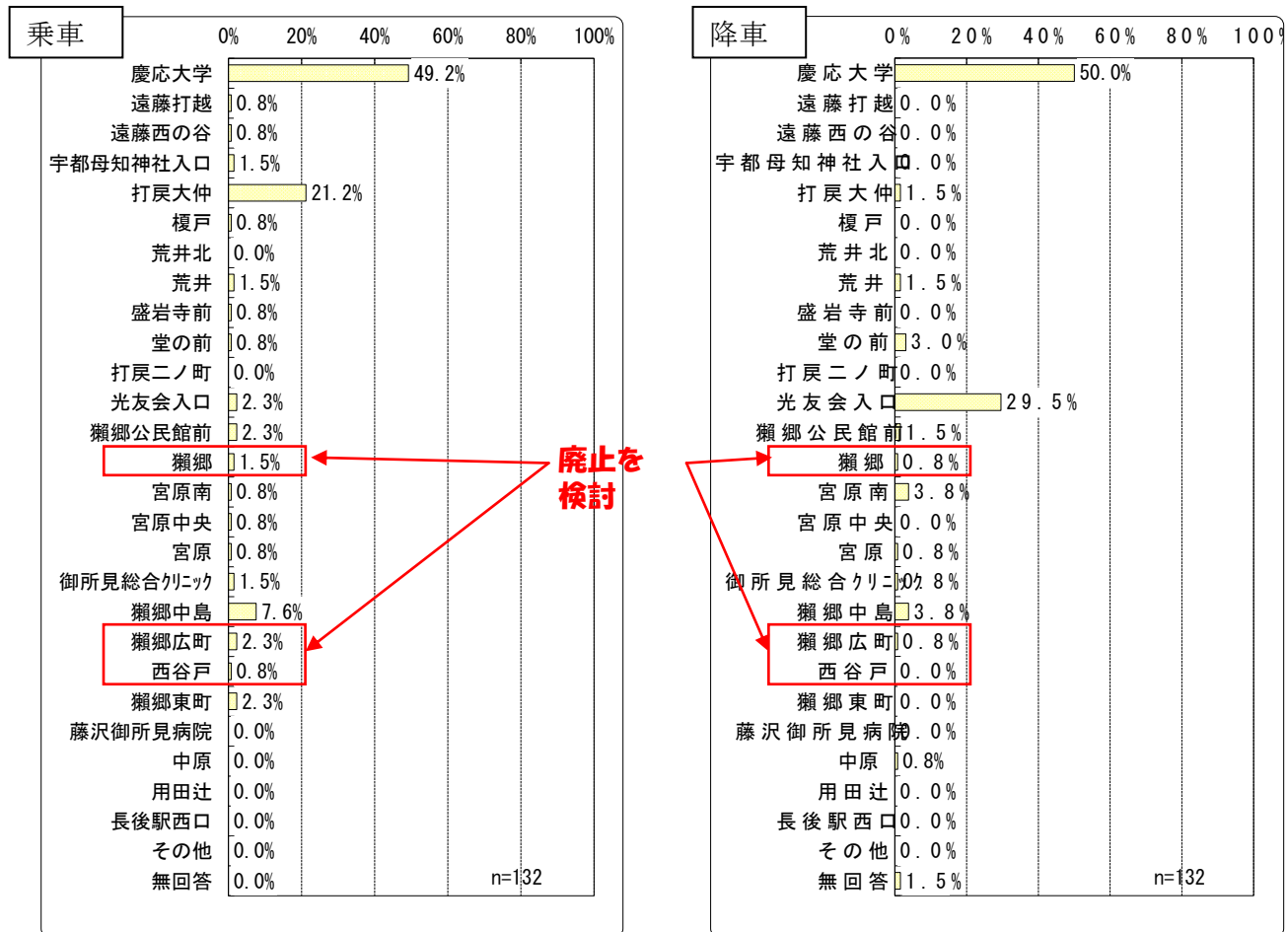


図-6 利用バス停（往路）

【復路】

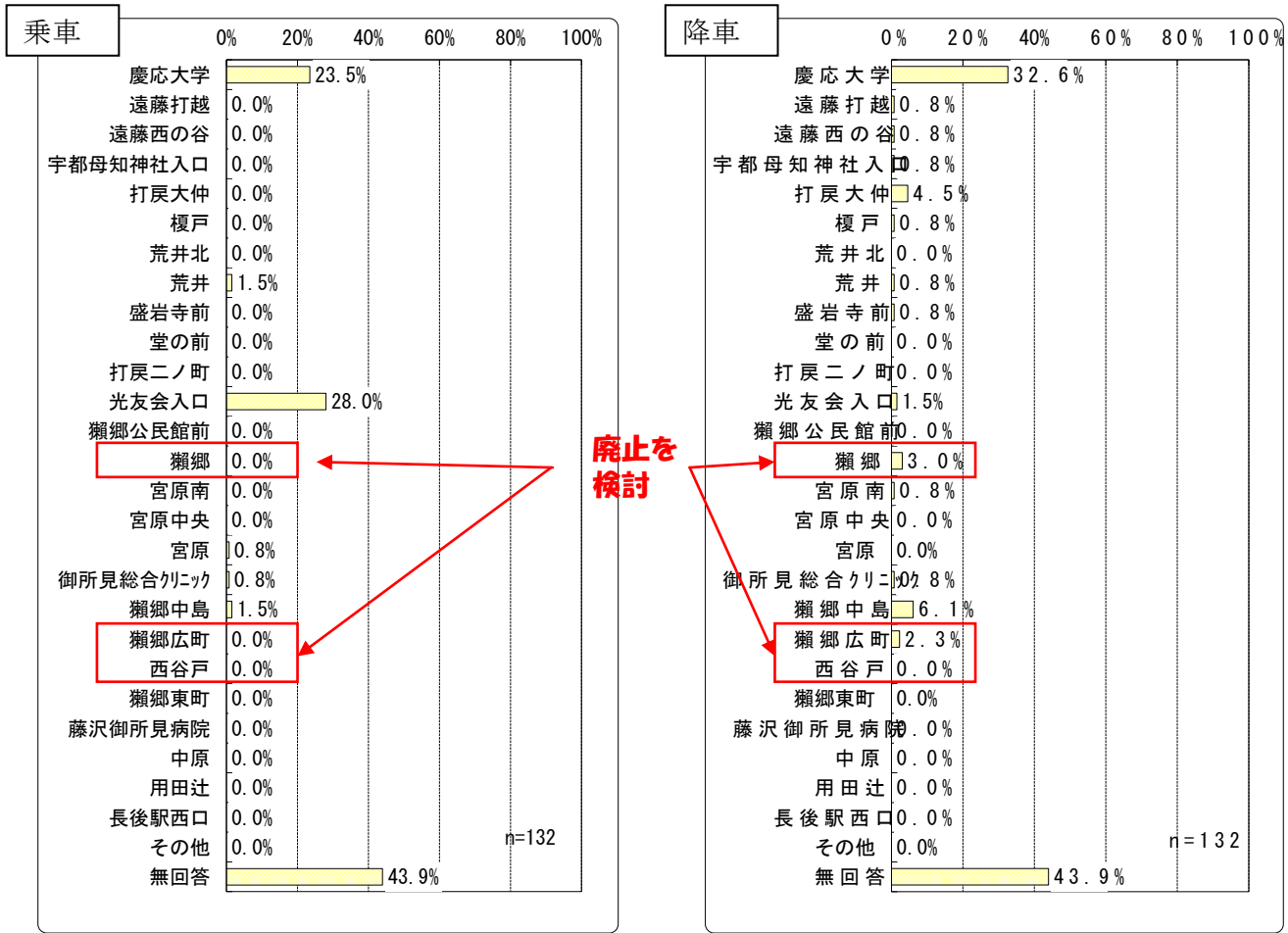


図-7 利用バス停（復路）

④時間帯別利用状況

午前は7時から8時台、午後は4時、7時台の利用が多くなっています。

なお、当日の利用の午後7時台は、サークル活動による集団利用が20人程度あったため、特異値を示しています。

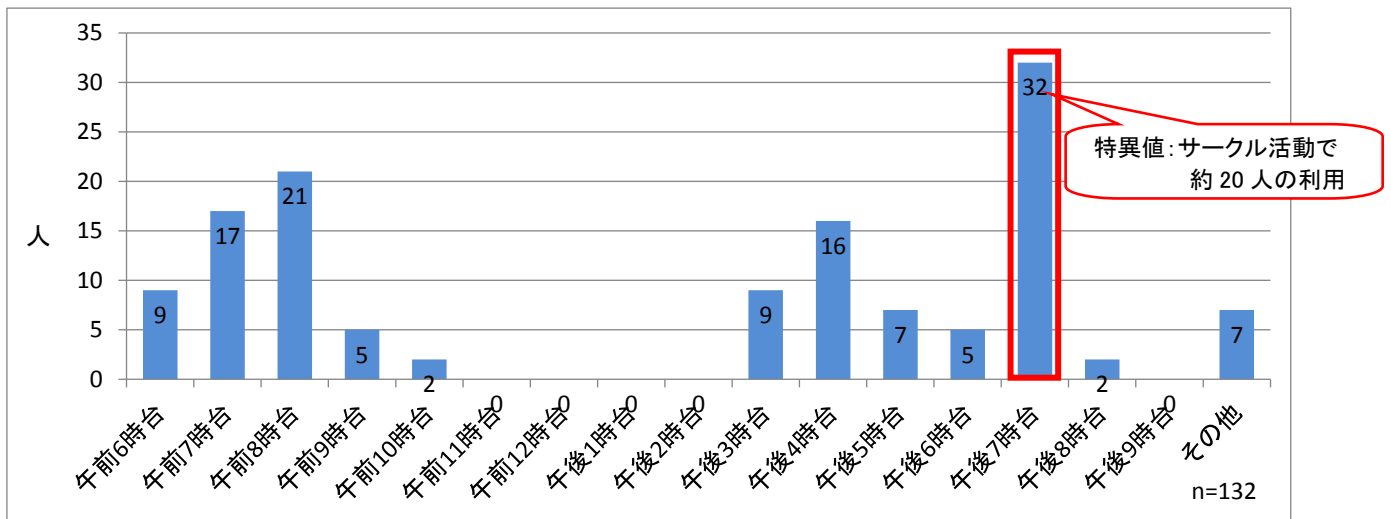


図-8 時間帯別利用状況

### 3) 路線再編案への意向

#### ①再編された際の交通手段

「(再編) ふじみ号」が62.1%と最も高く、次いで、「(新系統) 綾瀬車庫～湘南台駅」が28.0%となっています。自転車などの他手段は、その他を除けばゼロとなっています。なお、その他の手段と回答した利用者2名の理由は、「バス停が遠いから」です。(※この2名の帰りの降車バス停は「瀬郷」です。)

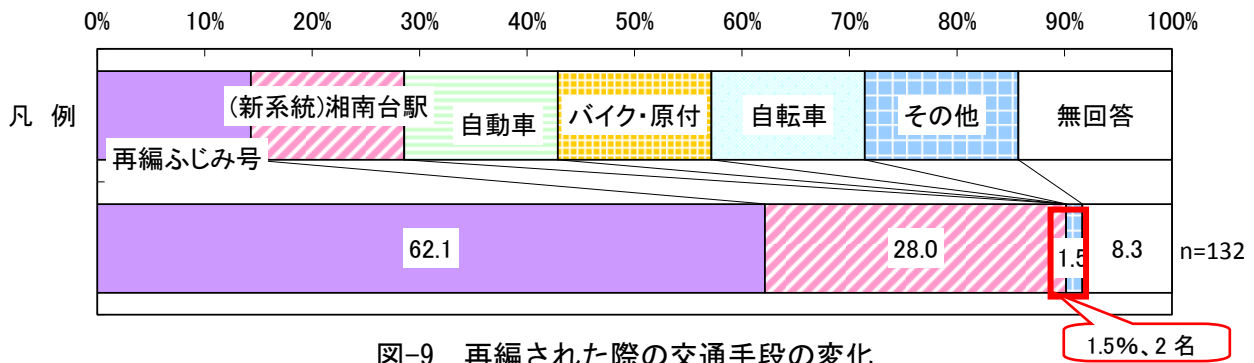


図-9 再編された際の交通手段の変化

#### ②利用頻度の変化

「変わらない」が87.4%、「変わる」が8.4%となっています。

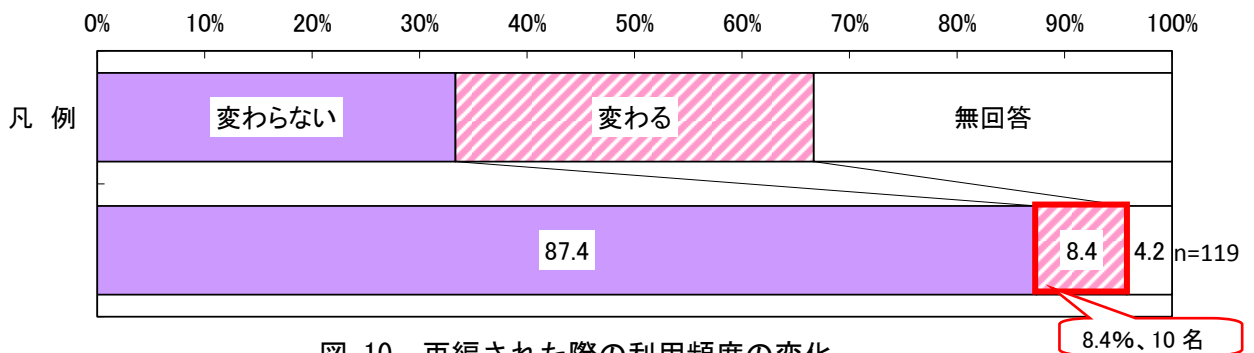


図-10 再編された際の利用頻度の変化

「変わる」と回答した回答者(8.4%、10名)について、現在の利用頻度と見直し後の利用頻度を整理したものが下表になります。

ピンク色で塗った回答者数が現在の頻度から見直し後に利用が増加する回答者を示しており、「変わる」と回答した10名のうち9名の利用頻度が増加する傾向が示されています。

表-1 再編された際の利用頻度の変化

		見直し後の頻度				合計
		毎日	週4～5回	週2～3回	週1回程度	
現在の頻度	週4～5回	2				2
	週2～3回		1	1		2
	週1回程度		1	1		2
	週1回未満			2	2	4
合計		2	2	4	2	10

利用頻度の増加傾向がみられる回答者 9名

### ③行先別の再編された際の交通手段の変化

湘南台駅方面については、再編後の長 17 への変化が比較的多くみられ、新系統の効果が見られます。

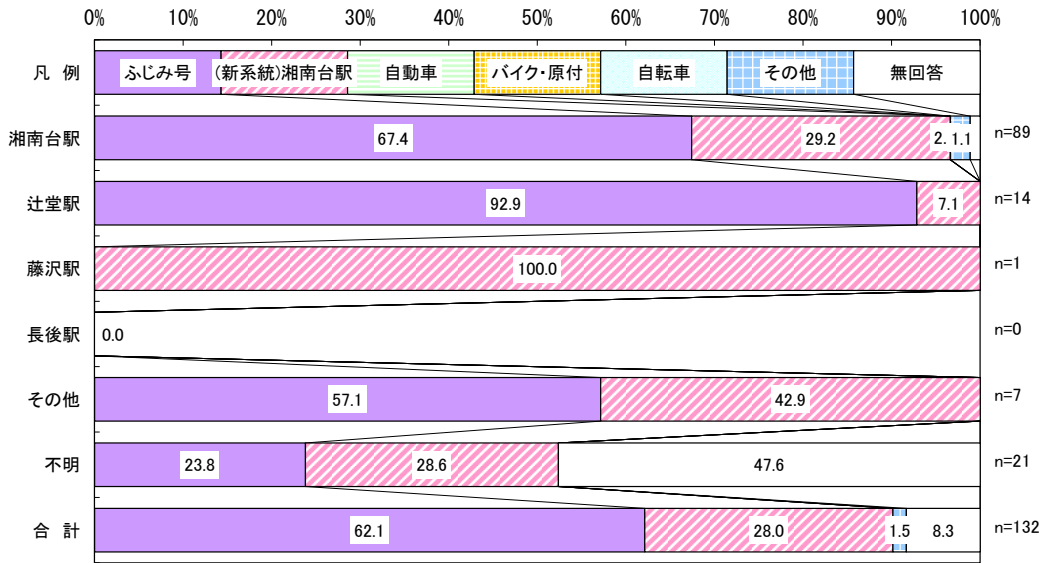


図-11 現在の利用駅別・再編された際の交通手段の変化

### ④再編後の利用バス停（乗車バス停および降車バス停）

慶応大学、打戻大仲、光友会入口の利用が多くなっています。

【往路】

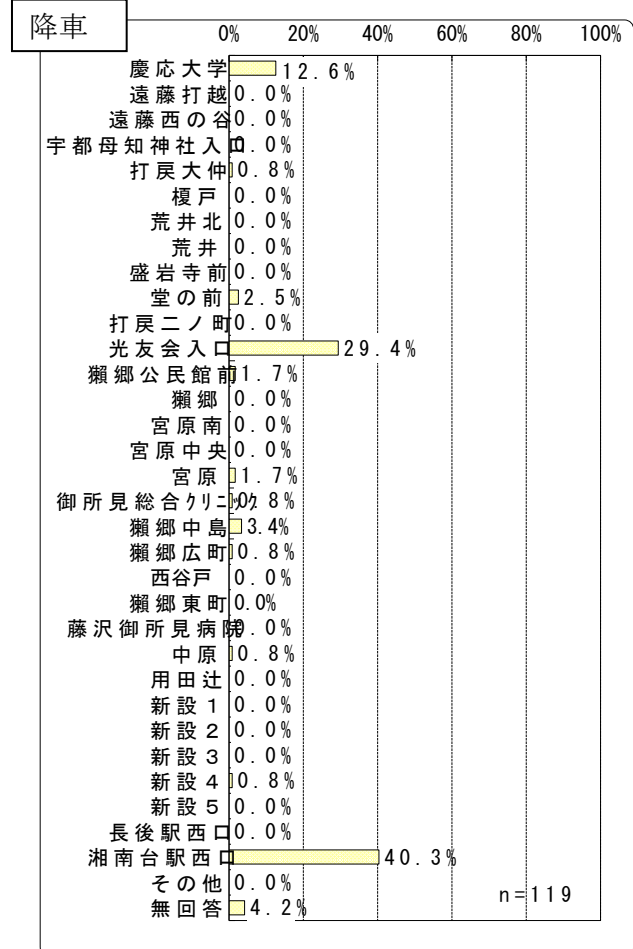


図-12 利用バス停（往路）

【復路】

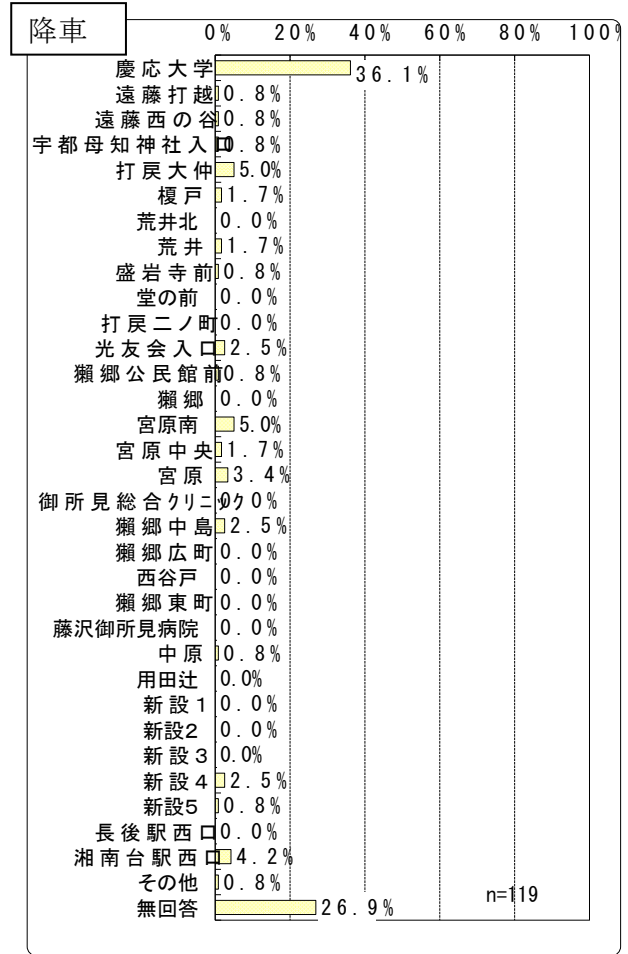


図-13 利用バス停（復路）

⑤自由意見

自由意見では、ふじみ号の終発時刻を遅くしてほしい、あるいは現在終発時刻が早いために往路でしか利用できない、という意見が見られています。

## 5. 長 17 系統利用者に対する意向調査結果

### (1) 調査概要

調査日程	2013 年 7 月 10 日
調査方法	長 17 系統に対して調査員が直接聞き取りで調査を実施
調査対象	長 17 系統を利用した乗客のうち 用田辻、中原、宮原、宮原中央、宮原南で乗降した乗客
回収票数	67 票
調査項目	現在の利用状況、路線の再編（案）についての意見

### (2) 調査項目

調査項目は、前述の「ふじみ号利用者へのアンケート」と同じ内容のため、「4. ふじみ号利用者へのアンケート調査結果」の帳票を参照してください。

調査は、路線の再編（案）について解説を行い、次の項目について聞き取りを行いました。

なお、対象は、路線の再編の影響を受ける用田辻以西の停留所としました。

長 17 系統の現行の運行状況は次のとおりです。

#### 【現在の運行状況】

##### 長 17 系統

路 線 : 長後駅西口～御所見市民センター～用田辻～宮原南

運行頻度 : 下り 7 時台 ～20 時台 (13 便 )

: 上り 9 時台 ～21 時台 (15 便 )



### (3) 調査結果

#### 1) 回答者の属性

「40代～65歳未満」の利用が多くなっています。

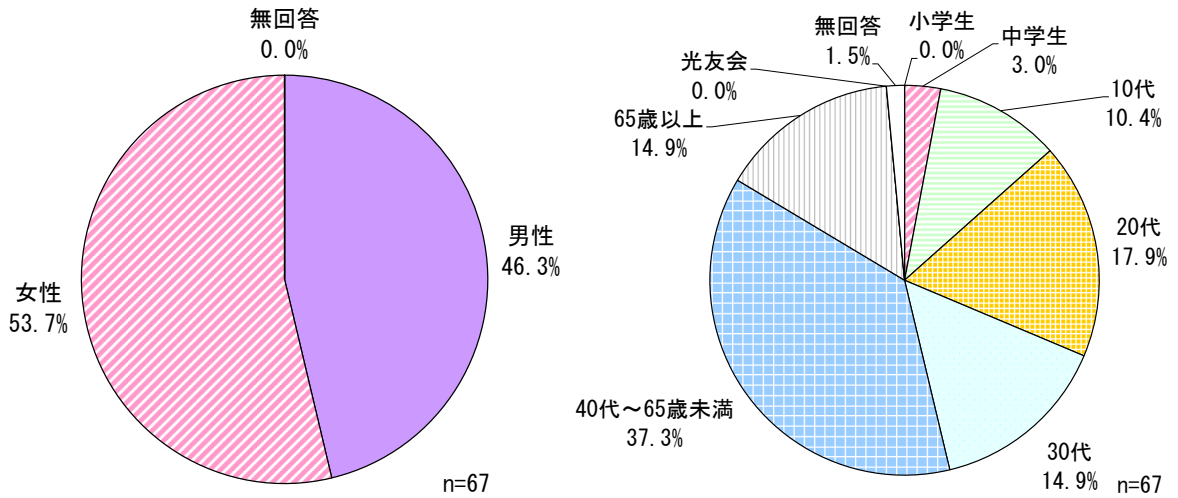


図-14 回答者の性別および年代

#### 2) 現在の長 17 系統の利用状況

##### ①利用目的、利用頻度

「通勤」が 41.8% と最も多くなっています。「週 4～5 回程度」が 40.3% と多い一方、「週 1 回未満」などの利用も 14.9% います。

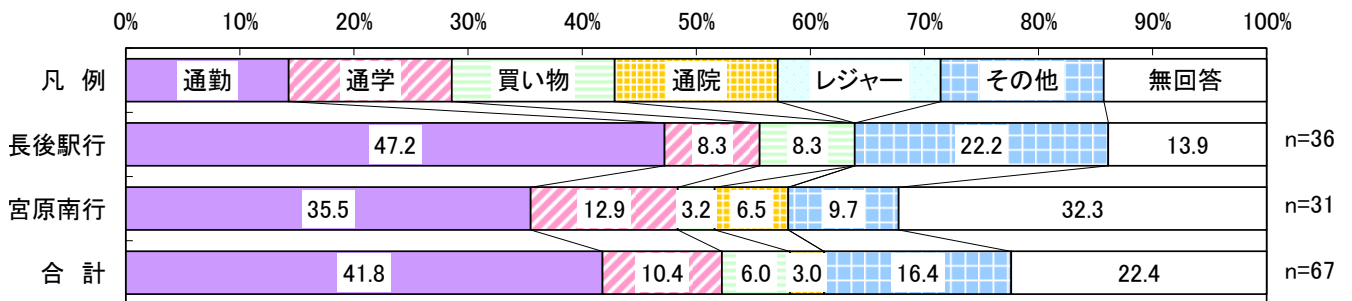


図-15 回答者の利用目的

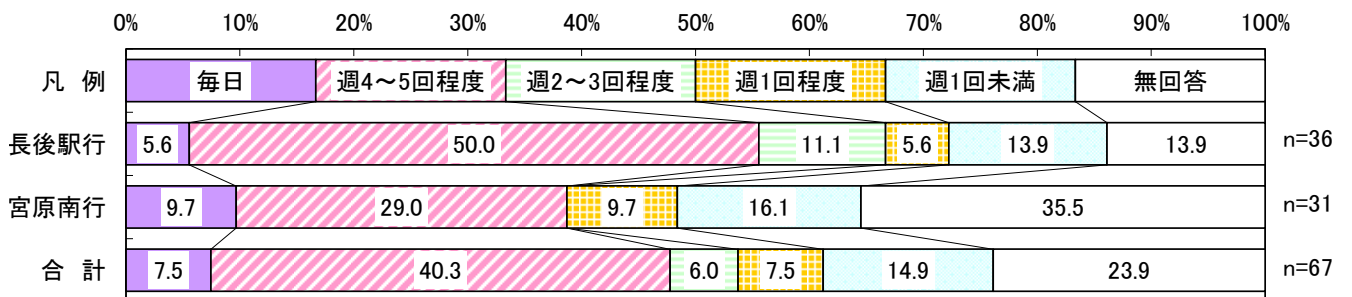


図-16 回答者の利用頻度

## ②利用駅

長後駅行の利用者のうち 61.1%が長後駅利用となっています。

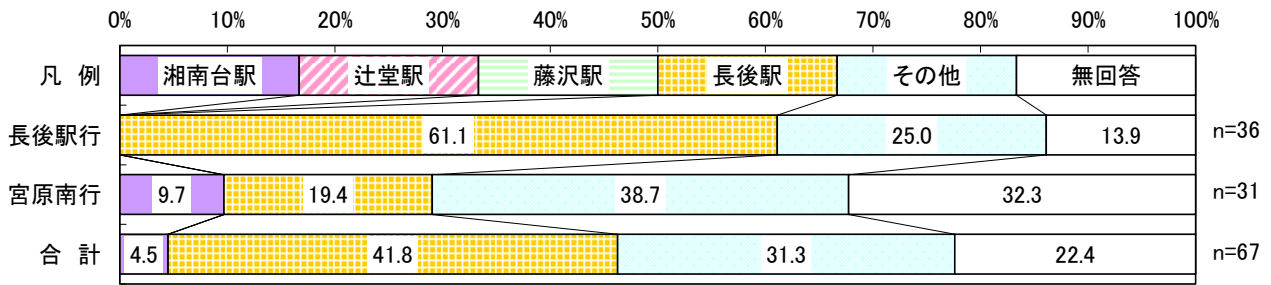
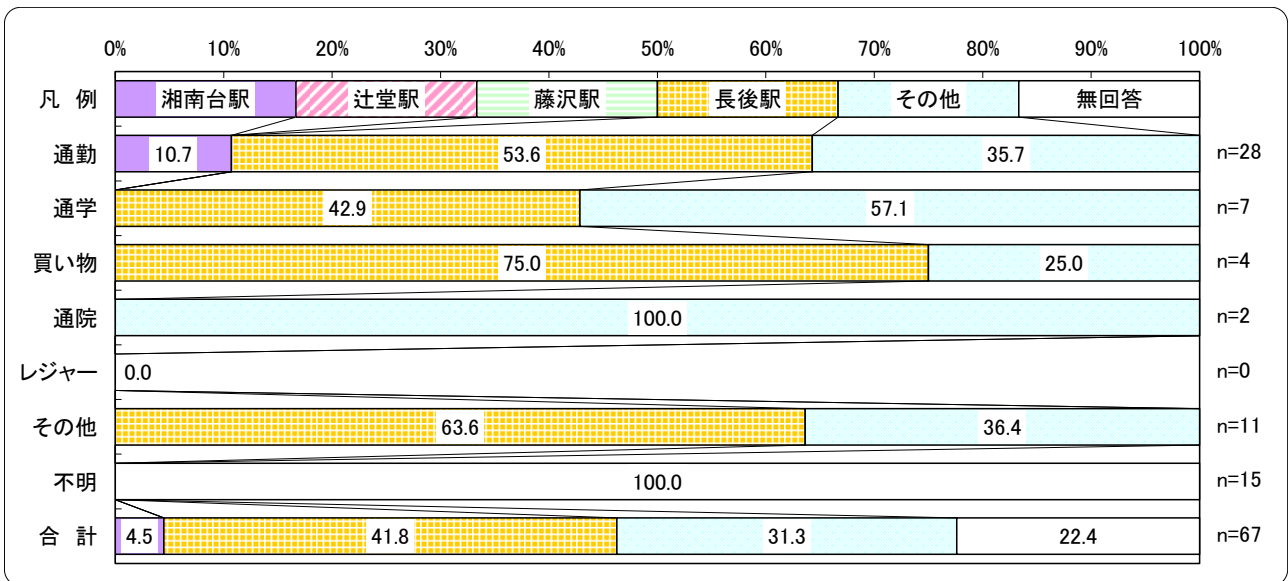


図-17 回答者の利用駅

### <目的別の利用駅>



### <年齢層別の利用駅>

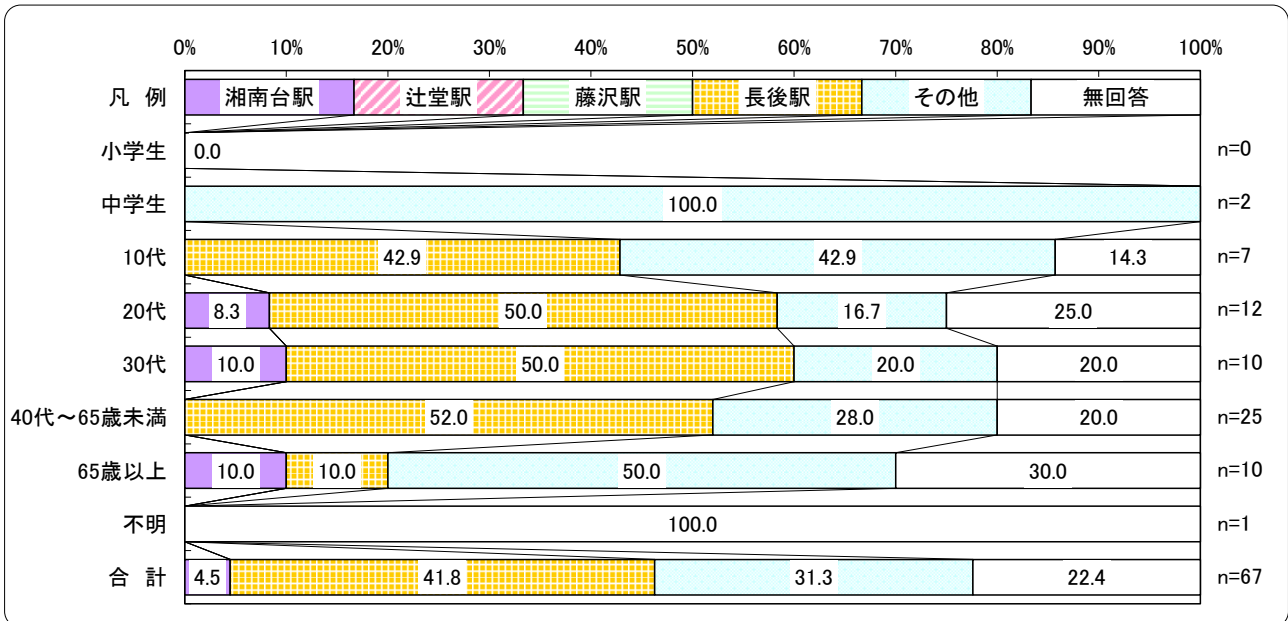


図-18 回答者の目的別の利用駅（上）、年齢別の利用駅（下）

### ③利用バス停（乗車バス停および降車バス停）

宮原南、宮原中央、宮原から長後駅西口までの利用が多くなっています。また、往路での降車バス停や復路での乗車バス停で「その他」と回答している方がおり、これらのバス停は長後駅西口から用田辻までの間のバス停であるため、長17系統がなくなった際には、これらの方がバスを利用する際は乗継等を行う必要があります。

【往路（宮原南⇒長後駅西口）】

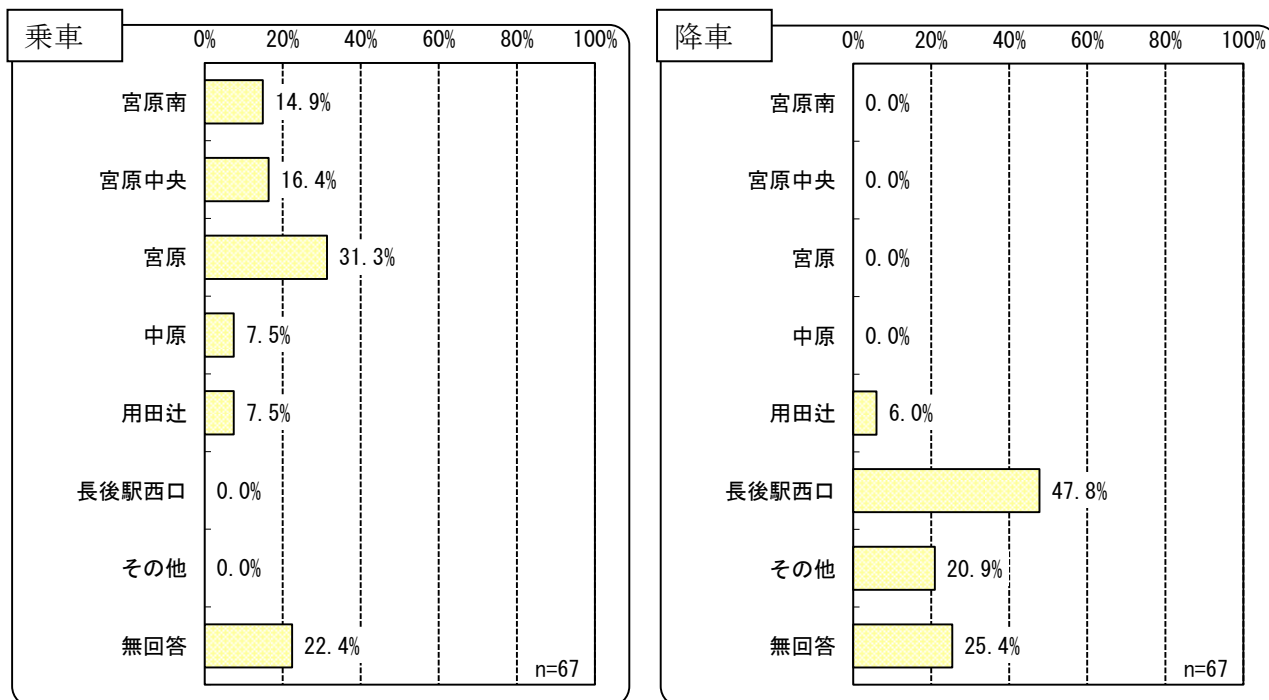


図-19 利用バス停（往路）

【復路（長後駅西口⇒宮原南）】

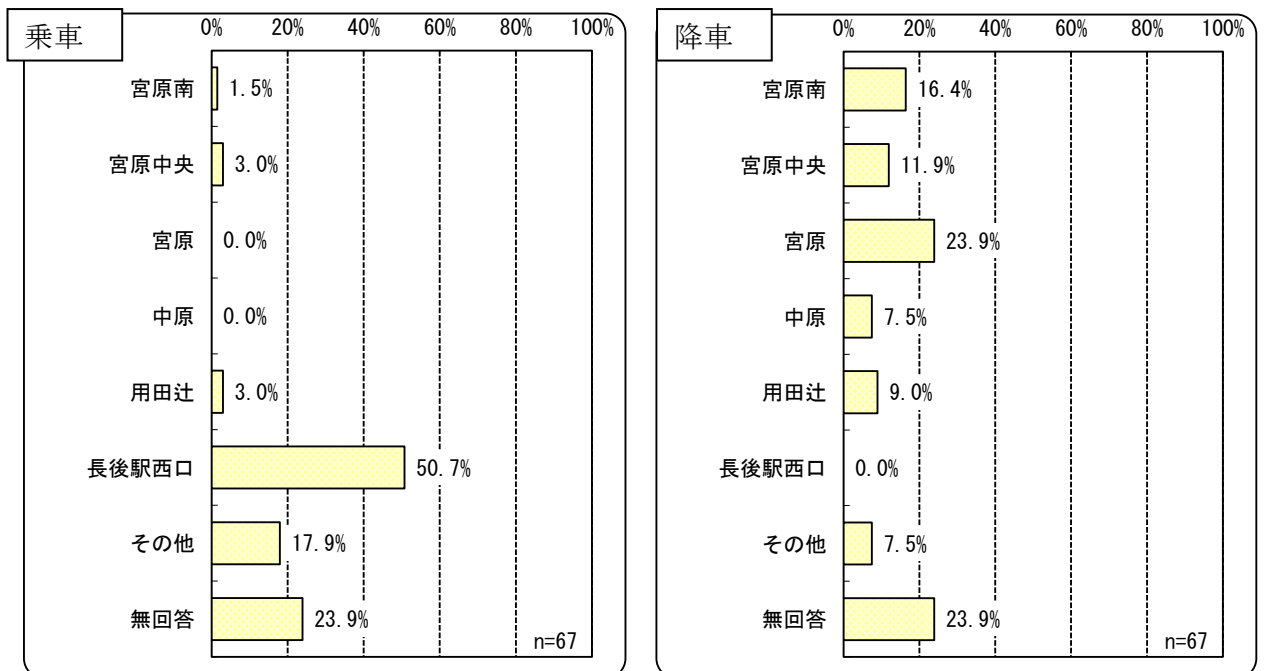


図-20 利用バス停（復路）

#### ④時間帯別利用状況

午前は6、7時台の利用が多い。午後は利用が広く分散しています。

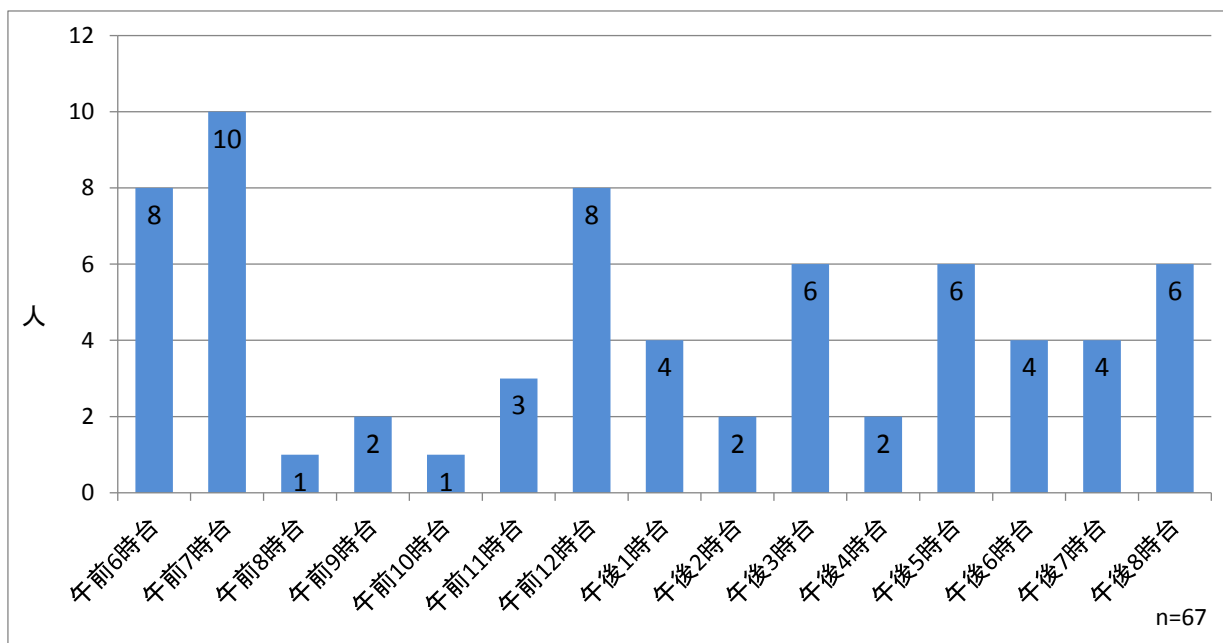


図-21 時間帯別利用状況

### 3) 路線再編案への意向

#### ①再編された際の交通手段

「(新系統)綾瀬車庫～湘南台駅」が49.3%となっている。自転車などの他手段は、その他が20.9%となっています。

その他の手段と回答した利用者(14名)の理由は、「目的地に行けない」が63.2%と高い状況です。

※この14名の現在のバス利用の目的地は長後駅が8名、その他が6名となっています。

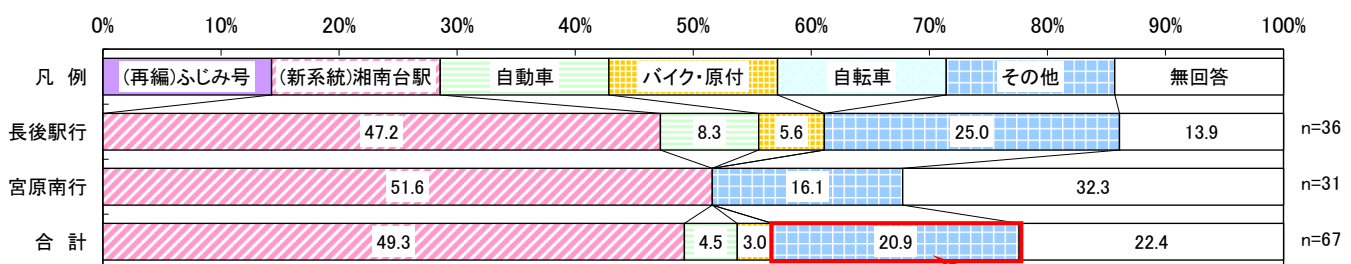


図-22 再編された際の交通手段

20.9%、14名

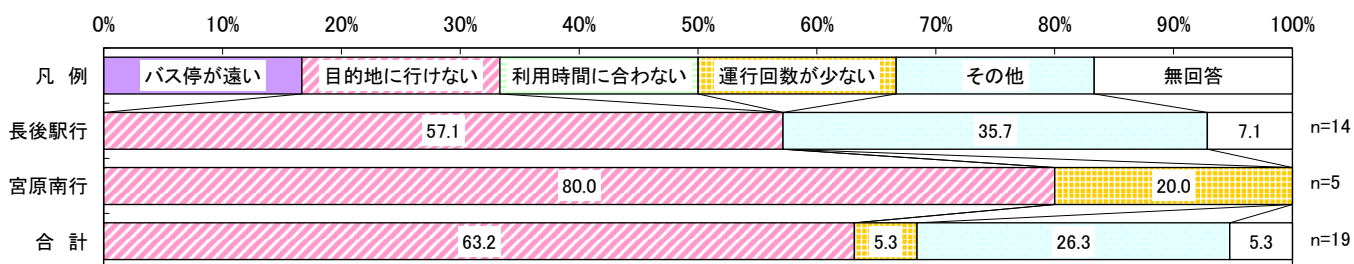


図-23 (再編)ふじみ号」「(新系統)綾瀬車庫～湘南台駅」以外を選択した人の理由

### ②利用頻度の変化

「変わらない」が54.5%、「変わる」が42.4%となっています。

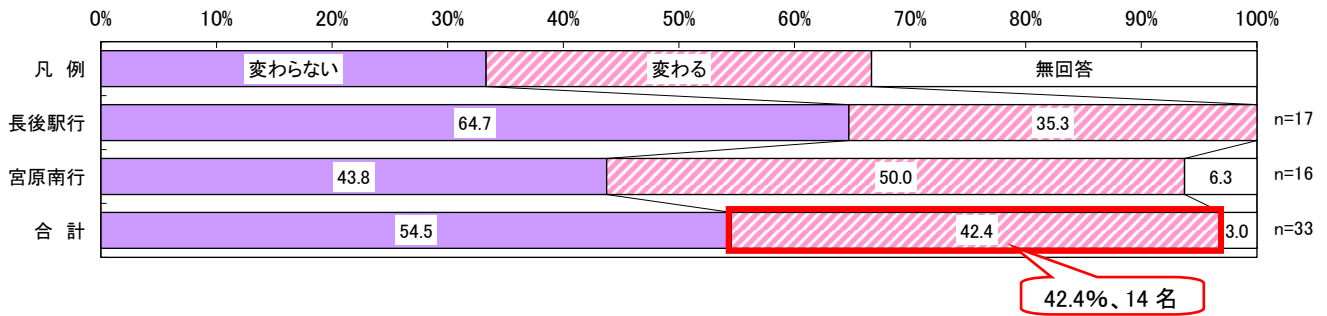


図-24 再編された際の利用頻度の変化

「変わる」と回答した回答者（42.4%、14名）について、現在の利用頻度と見直し後の利用頻度を整理したものが下表です。

ピンク色で塗った回答者数が現在の頻度から見直し後に利用が増加する回答者を示しており、「変わる」と回答した14名のうち8名の利用頻度が増加する傾向が示されています。

表-2 再編された際の利用頻度の変化

		見直し後の頻度					合計
		週4～5回	週2～3回	週1回程度	週1回未満	未記入	
現在の頻度	毎日	1		1			2
	週4～5回					2	2
	週1回程度	4	1		1		6
	週1回未満	2	1		1		4
合計		7	2	1	2	2	14

利用頻度の増加傾向がみられる回答者 8名

### ③行先別の再編された際の交通手段の変化

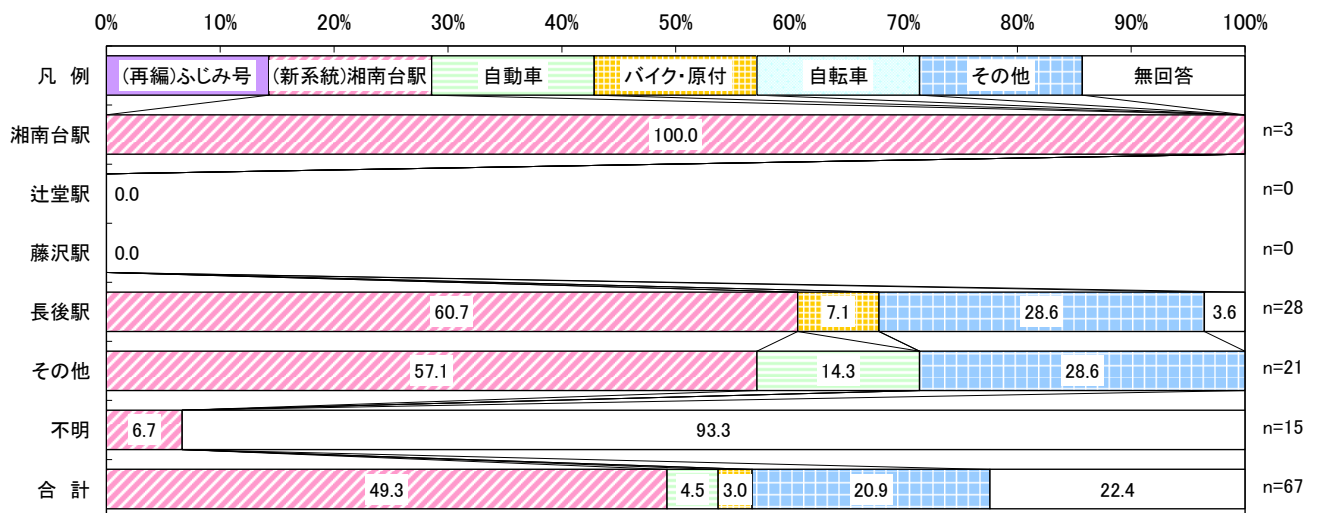
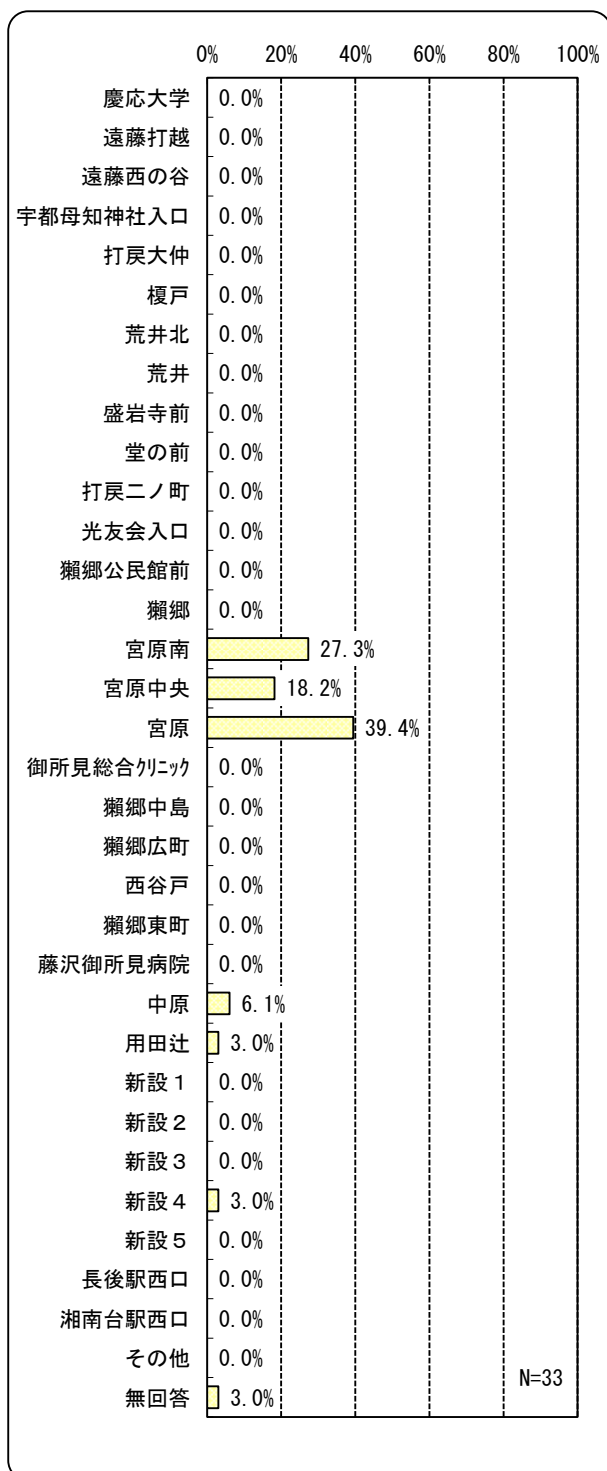


図-25 現在の利用駅別・再編された際の交通手段の変化

### ③再編後の利用バス停（乗車バス停および降車バス停）

宮原南、宮原中央、宮原から湘南台駅西口までの利用がほとんどとなっています。その他、中原や用田辻、新設バス停（新設4）でも若干の利用が見られます。

【御所見地区内の利用バス停】



【湘南台駅方面の利用バス停】



図-26 利用バス停

## 6. 御所見市民センター利用者へのアンケート調査結果

### (1) 調査概要

調査日程	2013年7月10日
調査方法	御所見市民センター来訪者（サークル活動参加者）へアンケートを実施
回収票数	44票
調査項目	路線の再編（案）を実施した場合の意向

### (2) 調査項目

調査は、御所見市民センターでサークル活動を行っている方に対して路線の再編（案）について解説を行い、次の項目について行いました。

再編を行った際にサークル活動でふじみ号の利用が考えられるかを調査するものでした。

#### 路線バスが再編された場合の利用意向調査

昨年12月に御所見地区の南側の地区で実施させていただいた「ふじみ号アンケート調査」結果を受けたルートの新編案について、ご意見をいただきたいと考えております。  
次の設問にご解答をお願いします。

#### 路線の再編（案）の概要（別紙1・参考図）

<p><b>【廃止を検討する区間】</b></p> <p>① ふじみ号（瀬郷～宮原南～宮原中央～宮原）、（瀬郷広町～西谷戸）</p> <p>② 長17系統（用田～御所見市民センター～長後駅西口）</p> <p><b>【廃止を検討するバス停】</b></p> <p>ふじみ号（瀬郷、瀬郷広町、西谷戸）</p> <p><b>【新系統】</b></p> <p>① ふじみ号（新）</p> <p>路線：慶応大学～榎戸～光友会入口～瀬郷公民館～藤沢御所見病院～瀬郷中島～新設3～新設2～中里団地～新設1</p> <p>運行頻度：時間あたり1.5往復程度（一部時間のみ）</p> <p>② 綾瀬車庫～宮原南～湘南台駅西口（新）</p> <p>路線：綾瀬車庫～用田辻～宮原～宮原南～新設4～新設5～榎戸～慶応大学～湘南台駅西口</p> <p>運行頻度：時間あたり1往復程度</p>
---

質問1. 路線の再編（案）についてご意見をお伺いします。

上記の再編計画を行った場合に、バスをどのように利用されますか。

(1)再編された際の交通手段(1つ)	1. (再編)ふじみ号 2. (新系統)綾瀬車庫～湘南台駅 3. 自動車(送迎を含む) 4. バイク/原付 5. 自転車 6. その他( )
(2)(1)の設問で3～6を選択した方のみ	
バスを利用しない理由(複数可)	1. バス停が遠い 2. 目的地に行けない(目的地 ) 3. 利用時間 4. 運行回数が少ない 5. 利用したくない 6. その他( )
(2)(1)の設問で1, 2を選択した方のみ	
新設路線の利用頻度	1. 変わらない 2. 変わる[平日( )回・土曜( )回・休日( )回]
利用時間・区間	行き：乗車バス停( ) / 降車バス停( ) 到着時間( )時( )分頃 帰り：乗車バス停( ) / 降車バス停( ) 到着時間( )時( )分頃
バス停番号	1. 慶応大学 2. 遠藤打越 3. 遠藤西の谷 4. 宇都母知神社入口 5. 打戻大仲 6. 榎戸 7. 荒井北 8. 荒井9. 盛岩寺前 10. 堂の前 11. 打戻二ノ町 12. 光友会入口 13. 瀬郷公民館前 14. 瀬郷 15. 宮原南 16. 宮原中央 17. 宮原 18. 御所見総合クリニック 19. 瀬郷中島 20. 瀬郷広町 21. 西谷戸 22. 瀬郷東町 23. 藤沢御所見病院 24. 中原 25. 用田辻 26. 新設1 27. 新設2 28. 新設3 29. 新設4 30. 新設5 31. その他( )

質問2. その他バスへの要望や問題に感じている点を、以下にご自由にご記入ください。

--

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

### (3) 調査結果

#### ①公共交通の利用意向

(新系統)綾瀬車庫～湘南台駅を利用すると回答した割合が約40%、(再編)ふじみ号を利用すると回答した割合が約7%となっており、来訪者のうち約半数が公共交通の利用意向を持っています。

一方で、(再編)ふじみ号の御所見市民センターへのアクセスを確保した場合でも、利用意向は7%に留まり、(再編)ふじみ号により御所見市民センターを利用する意向は低い状況です。

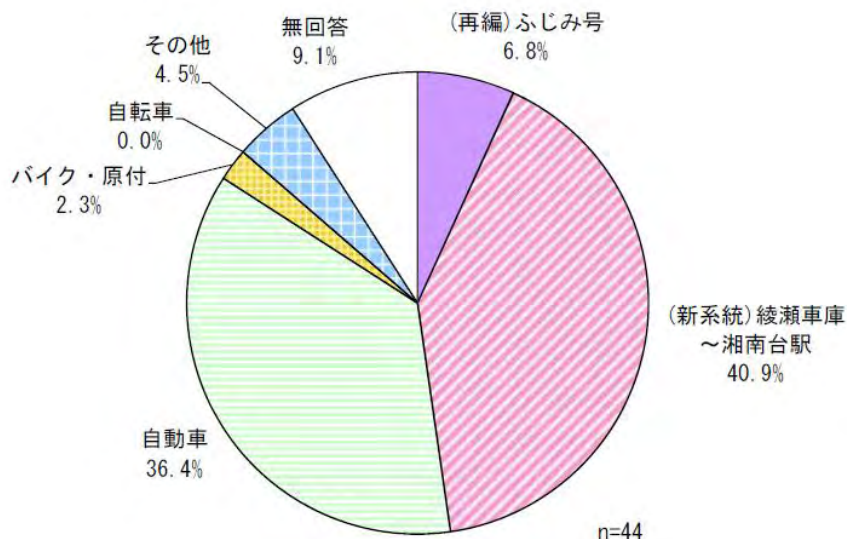


図-27 路線再編(案)を実施した場合の公共交通の利用意向

#### ②公共交通を利用しない理由

上記で公共交通の利用意向を持たない方(23名)のうち、公共交通を利用しない理由を回答した方は18名(複数回答可のため、計27件回答あり)であり、バス停が遠い、利用時間が合わない、運行回数が少ないなどが主な理由となっています。またその他の方は、自動車移動できるという意見が中心となっています。

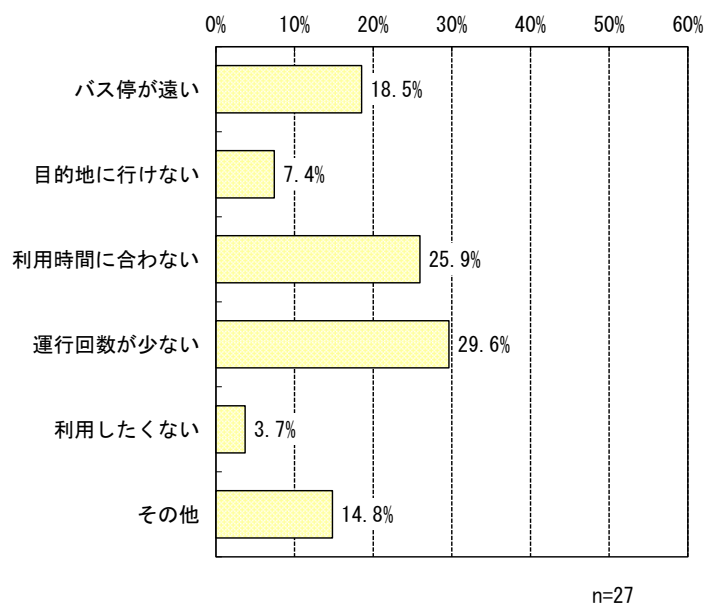


図-28 バスを利用しない理由



### ③公共交通の利用頻度の変化

①で公共交通の利用意向があった方については、約6割の方について、公共交通の利用頻度が変わると回答しています。

利用頻度が変わるとご回答いただいた方については、新設される路線への乗車意向と捉えられることから、62%（13人）の方の利用が増加すると捉えられます。

なお、施設利用者は、御所見地区全体の方となることから、御所見地区内の新設路線への期待の高さがうかがわれます。

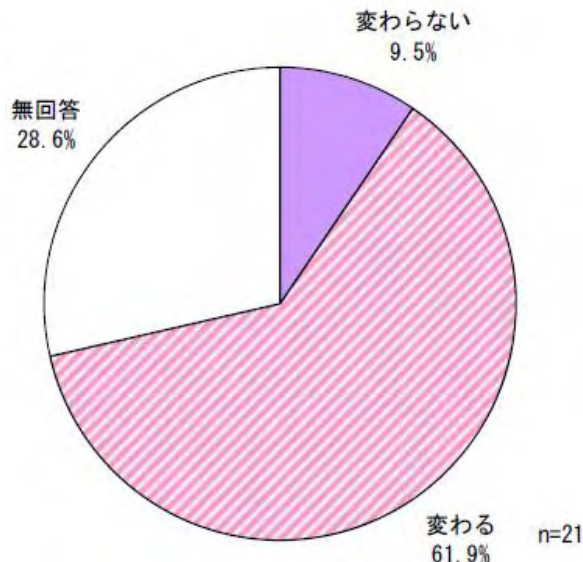


図-29 路線再編（案）を実施した場合の公共交通の利用頻度の変化

また、利用頻度が増加した方の再編後の具体的な利用頻度は、週に2～3回とする方が最も多くなっています。

利用回数について約半数の方が具体的なイメージを持っていただけることは、利用したいと考える方が実際に利用する場面が想定されやすい施策と考えられることから、交通行動の変化に結びつく可能性が高いと想定されます。

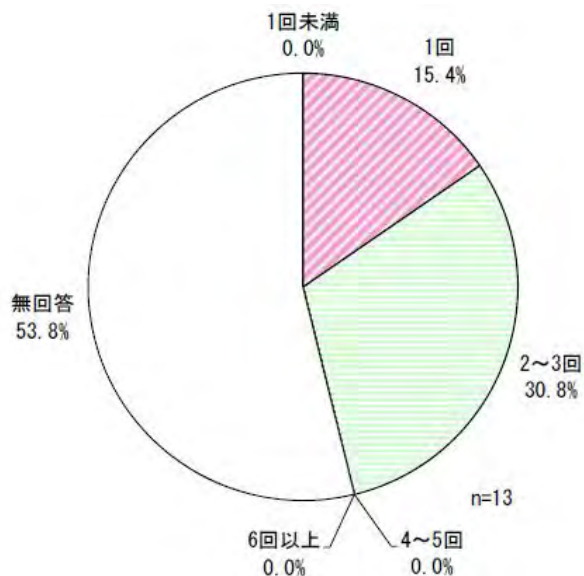


図-30 再編により利用頻度が変わるとした方の再編後の利用頻度の意向

## 7. 再編の方向性に関する現時点での評価

### ① 肯定的要素

- ・ふじみ号は、朝7時台～8時台、夕方4時台～7時台に利用される方が多く、現在の利用者の利便性が再編により損なわれる可能性は低い状況です。
- ・（新系統）綾瀬車庫～湘南台駅西口は、現在、ふじみ号、長17系統を利用されている利用者及び御所見市民センター利用者からも湘南台駅への接続が支持され、利用者の利用頻度が増加するという回答をふじみ号利用者から9件、長17系統利用者から8件、市民センター利用者から13件いただいています。

### ② 否定的要素

- ・現在、長17系統を利用される方には、目的地を長後駅までの途中の施設、長後駅周辺の施設の方が含まれるため、（新系統）綾瀬車庫～湘南台駅西口の路線でカバーできないため、一部の方（調査時は14名）について、バスの利用の見直しが迫られます。
- ・（再編）ふじみ号が御所見中心地区に接続する場合の利用意向が少なく、新たに路線を設定した場合の利用対象者が想定できない状況です。



#### 【（新系統）綾瀬車庫～湘南台駅西口】

- ・ 開設する価値の高い路線と評価されます
- ・ 開設までの利用促進、利用者分析を行い、より一層の利用の確保に向けた検討を進めます
- ・ 長17系統の用田辻～長後駅の停留所利用者についての代替交通手段の提示（乗継等）

#### 【（再編）ふじみ号】

- ・ 主たる利用者の光友会の関係者の利用は、再編後の路線で確保されます
- ・ 廃止を検討するバス停の大半は、（新系統）綾瀬車庫～湘南台駅西口で代替されます
- ・ 御所見中心地区の乗入れ効果として期待されるものが得られていない状況です

## 8. 今後の進め方

### ①御所見中心地区での調査の実施

- ・中里小学校区においてふじみ号が通学バスとして利用できるか、などを把握するために、[小学校区のPTAと連携して、調査を実施](#)します。
- ・路線周辺の利用促進に資する[関係機関調査](#)を行います。
- ・[高齢者を対象としたアンケート](#)を行い、ふじみ号の利用促進につながる路線が可能かを評価します。

### ②ふじみ号、長17系統の再編によるメリットの最大化、デメリットの最小化

これまでの調査及び今後実施予定の調査結果を分析し、再編メリットの拡大、デメリットの最小化に向けて、再編イメージの見直しを行います。

- ・（新系統）[綾瀬車庫～湘南台駅西口の利用を促進するためのダイヤについて、調査結果の分析](#)を進めます。
- ・（新系統）綾瀬車庫～湘南台駅西口の路線について用田辻以北の住民の方等の再編メリットについて確認します。
- ・また、各路線を再編することによるデメリット（廃止を検討しているバス停を利用されている方がいる、目的地へのアクセス性が低下する等）についても整理し、これらの方が今後も公共交通を利用していくための方策も念頭に置きつつ、再編の効果を示します。
- ・[ふじみ号が御所見地区の中心部へ乗り入れを行うことに関するメリット又は利用が促進されるルートについて調査](#)します。

### ③バス利用を地域に浸透させるための取組み

- ・[説明会等による地元への周知](#)。
- ・バス利用促進に向けて、地域が関与することが可能か、どのような活動が可能かについて、これまでアンケートの調査を行った団体等に対して、意見交換等を実施します。
- ・バス利用を促進するための情報提供手段について示します。